

公益社団法人 湖南省シルバー人材センター

2024 年度 事業報告

2024 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日

1. 事業概要

2024 年は、元旦に発生した能登半島地震という衝撃的な出来事で幕を開けましたが、その後も地震や豪雨、記録的な猛暑などの自然災害に見舞われ、甚大な被害が発生するなど地球温暖化の影響を強く感じさせる一年でした。

社会情勢では「アメリカ大統領選挙」「衆議院議員選挙」「石破総理」といった日本とアメリカのトップの変更に大きな関心が寄せられたことや「新NIS A」「新紙幣の発行」といったニュースが話題を呼びました。

また、生活面を振り返ると最も関心が高かったのは「物価上昇に関するニュース」です。賃金の上昇率が約 30 年ぶりの高水準にあるにもかかわらず、生活に身近な食料品や日用品の値上げがきつく、個人消費は精彩を欠いているのが現状で、今後の思い切った政府の政策に期待をするところです。

公益社団法人湖南省シルバー人材センター（以下、「センター」という）を取り巻く環境を見ますと、制度開始から 2 年目となったインボイス制度の実施に加え、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（いわゆるフリーランス新法）」が 11 月から新たに施行されたことは、センターの運営にとって事務事業の効率化と事業環境の改善を進めるきっかけとなりましたが、最も影響が大きかったのは急激な物価上昇による燃料代等の高騰におけるセンターの財政運営でした。

※「フリーランス新法」とは、個人である会員（フリーランス）が、事業者として受託した業務に安定的に従事することができる環境を整備するために、業務委託をする事業者との取引の適正化や就業環境の整備を図ることを目的とした法律のことです。

センターが 2024 年度の重点的な取り組み事項として挙げていた会員数の拡大に関しては、様々な就業機会や独自活動の取り組みを進めてきましたが、とくに女性部会を中心に「香りの魔法をあなたの手で！初めてのアロマポットづくり」や「いちご大福づくり体験講座」などのカルチャー講座を開催するなど、積極的に部会活動に取り組んでいただき、多くの女性の参加を得るとともに新たな女性会員の獲得に繋げることができました。

このほか、一般講習では健康的な身体づくりと介護予防をめざす「卓球講習会」の開催、あらたに AED（自動体外式除細動器）を導入したことを機に湖南中央消防署による心肺蘇生や AED の使い方、けがの手当てなどの方法を学ぶ「い

「ぞ！というときの救命救急講座」の開催、社会保険労務士を講師に招き、自分の財産の引継ぎ方やエンディングノートの活用方法などを学ぶ「終活講座（老いと病への備え方）」を開催した他、昨年度に引き続き「認知機能検査」体験アプリMOGI（モギ）を使った模擬体験会を実施しました。

さらにシルバーが最優先とする安全・適正就業の推進に関しては、安全・適正就業推進委員会を中心に安全就業パトロールを強化したほか、石部自動車教習所で開催された「高齢者の交通安全研修会」には多くの会員が参加されました。

また、「めおと割（夫婦会員会費減額制度）」は昨年度から実施していますが、さらに会員拡大に向けて2024年度から新たに家族や知合いを紹介する「会員紹介キャンペーン」を展開して積極的な会員の確保に努めました。

また、今後の課題として会員と事務局との効率的な就業情報等の伝達と共有を図ることを目的に、会員の「スマートフォンの利用実態に係るアンケート調査」を実施しました。

なお、地域経済の活性化と会員の福利厚生の実現はもとより、会員の拡大確保に繋がる「シルバーフレンドリーショップ制度（会員優待割引制度）」も創設から3年目を迎え、会員の利用促進に向けた積極的な案内周知と会員優待割引協力店の登録数拡大に努めました。

さらに会員の拡大に向けて従来から実施している「入会説明会」を毎月2回、「女性限定入会説明会」を毎月1回開催した他、市内スーパー5か所で開催した「出張入会案内」や広報誌「シルバーこなん」新年1月号の新聞折り込みによる全戸配布、8月の自治会による町内回覧、毎月発行の「事務局だより」の内容充実、会員への「ショートメールサービス」、入会を希望する方への「WEB入会システム」や「YouTubeによる動画配信サービス」を使った入会案内等々、デジタルリテラシーを活用し、業務の効率化を図った事業展開を積極的に試みながら目標の達成に努めました。

※「デジタルリテラシー」とは、パソコンなどを使って最新のテクノロジーを業務に活かす能力のことです。

とくに派遣事業に関しては、経済が上向きになってきているとは言えるものの、厳しい物価高の影響で未だ事業所による発注控えが一部で続いている状況で、全体の契約件数としては昨年度より2.5%増という結果となりました。

受託事業（請負）についても、派遣事業と同様に対前年度比では一定増加の兆しが現れているものの、全体の契約件数は昨年度の▲10.9%という状況でした。

安全適正就業については、幸い重篤な事故はありませんでしたが、事故は往々にして気の緩みなどから起こるものであり、安全・適正就業委員会による「安全・適正就業研修会」への積極的な参加や、草刈り作業等の現場安全パトロールを行いました。

また「事務局だより」には、定期的に「安全就業ニュース」や「見守り・安心宅配便」の欄を設け、就業や日常生活における安全意識の徹底と啓発に努めまし

た。

このように混迷する社会情勢のなかで、公益社団法人としての法令遵守と社会的役割の観点をもって事業運営に努めてきたところ、**契約額**は前年度比+0.4%の2億672万6,806円、令和7年3月末における**会員数**は1人増の519人で+0.2%（男323人▲0.9%、女196人+2.1%）という結果となりました。

当センターでは、役職員が一体となり会員相互の連携をさらに深め、個々の希望と能力を活かした事業運営となるよう、引き続き取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

2. 事業実績

(1) 就業に関する情報の収集および提供活動

湖南省やハローワーク甲賀をはじめとする公共機関や民間企業、民間団体ならびに一般のご家庭等から就業に関する情報を収集し、「事務局だより」の発行、毎月第三月曜日に開催する「就労相談会」の実施、電話による就業紹介、ホームページによる就業情報の提供、シルバーワークプラザ玄関掲示板へ就業情報の掲載などを通じて、会員に広く情報を提供して就業の拡大に努めました。

また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という）や公益社団法人滋賀県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という）が実施する事業への参画や他市町のシルバー人材センターとの連携を図り、情報共有による就業に関する情報を収集し、会員に就業情報を提供することで事業の質的向上と量的拡大に努めました。

(2) 就業に関する調査および研究

全シ協や連合会が実施する会議や各種研修会・講習会等に役職員ならびに会員が積極的に参加しました。

一方、センターでは新規入会希望者の確保と入会手続きの利便性を追求するため、ホームページ内に構築した「WEB 入会システム」や「YouTube による動画案内」を引き続き開設しました。

また、女性会員の拡大を目指し、女性が参加しやすいよう「女性限定入会説明会」を毎月末の月曜日に開催しました。

(3) 高齢者に対する就業相談の実施

シルバーの仕事に関心のある方や、入会を希望する方を対象にした月2回の「入会説明会」と既会員を対象とした「就労相談会」を実施しました。

また、毎月発行する「事務局だより」に就業情報を掲載するとともに就業希望の有無に関わらず、会員に対して個別に電話で案内するなど未就業者の解消に努めました。

(4) 就業機会の確保および提供

① 受託事業（請負）

地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を官公庁や一般家庭、企業・事業所等から請負や委任の形式で引き受けるために、会員をはじめ役職員が一丸となり事業を推進した結果、本年度における請負・委任契約に係る受託事業の実績は、**契約額**が 1 億 1,378 万 996 円で前年度と比較して 1.1%の増、**契約件数**は 1,097 件（▲10.9%）、**就業実人員**は 284 人（+1.1%）、**就業延人員**は 19,318 人日（▲5.0%）となりました。

② 自主事業と地域就業機会の創出・拡大事業

当センターの自主事業である「刃物研ぎ事業」を実施したほか、湖南省からの依頼に基づく「空き家管理サポート事業」を継続することで、市との連携を深めるとともに地域への貢献を図りました。

また、女性部会では 2024 年度も「あなただけのポーリンベルちゃん（人形）を作りませんか♪講習会」や「香りの魔法をあなたの手で！初めてのアロマポットづくり」、さらに「自分でできる癒しの技！セルフハンドマッサージ体験講座」や「いちご大福づくり体験講座」などのカルチャー講座を開催するなど積極的な部会活動への取り組みは、今後の独自事業への足掛かりとなりました。

このほか毎月実施している「卓球教室」は、体力づくりや介護予防といった会員の健康管理に貢献するだけでなく、非会員の方の参加も受け入れているため、新たな会員の確保に繋がることを期待するところです。

また、介護関連事業については、湖南省高齢福祉課や健康政策課との連携強化を図り、「フレイル予防」を目的に引き続き湖南省との連携を図ることにより、新たな自主事業の開発に向けた積極的な取り組みに努めました。

※「フレイル」とは、「健康」と「要介護状態」の中間で、生活が不活発になること で身体や頭の働きが低下してしまい心身が弱っていく状態です。

③ 派遣事業

連合会が実施している「労働者派遣事業」を活用して、高年齢者の多様な就業ニーズに応えるため就業形態の選択肢を増やすとともに、法令遵守に基づく事業の適正化の推進に努めました。

その結果、**契約額** 9,294 万 5,810 円（▲0.4%）、**契約件数** 81 件（+2.5%）、**就業実人員** 175 人（▲1.7%）、**就業延人員** 15,170 人日（▲3.0%）となりました。

(5) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業は、センター事業の重要課題であるため、会員の事故防止や健康管理を最優先に努めなければなりません。このため安全・適正就業委員会を中心に、会員の安全就業（安全講習会等）、健康管理（卓球教室など）ならびに適正就業の推進に努めましたが、本年度は賠償責任が必要な**物損事故** 4 件、**傷害事故** 2 件が発生するという結果となりました。

事故の多くは、日頃の慣れからくる過信が要因であることから、今後も安全就業に対する取り組みを強化し、事故ゼロを目標に事故撲滅に努めました。

また、厚生労働省が示している「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の趣旨に則り、発注者にはシルバー人材センターの働き方を周知し、会員に対しては周知と必要に応じた研修や面談による説明を実施するなど、これからも引き続き適正就業の推進に努めます。

(6) 組織の充実と経営及び運営基盤の整備

① 会員の経験および知識・能力を活用した運営

事業の企画・運営及び会議や各種研修会・各種技能講習会等への参加（リモート含む）に努めました。

② 理事会等の充実

理事会・専門部会等への適時適切な情報提供を行い、課題を共有しながら理事会運営の充実を図りました。

③ 財源の確保

本年度も湖南省や湖南省議会に対して補助金の増額と公共に係る業務発注の拡大を要望しました。

また、自主財源を拡大するための就業開拓や新規事業の創出に努めました。

④ 事務処理の集中化・適正化の推進

業務における事務処理の効率化と経理事務における効率化・適正化の推進に努めるとともに、公益社団法人としての社会的役割と責任を果たすため、**法令遵守とコンプライアンス遵守**の徹底を図りながら適正な運営に努めました。

とくに 2024 年度はコンプライアンスの遵守を強化するため、ハラスメントの防止に着目して、様々なハラスメントに関する説明と再認識による動機づけを図りました。

※「コンプライアンス」とは、本来の法令遵守に加えて企業理念や社会的責任（CSR）といった「企業倫理」のことです。

※「ハラスメント」とは、セクシャルハラスメントやエイジハラスメント、ジェンダーハラスメント、パワーハラスメントなど性別や年齢、立場の違いなどにより、一般的に人に対する「嫌がらせ」や「いじめ」などの迷惑行為を指します。